



通信 **ハッテ** 有志による同窓生・金光学園 由よしみち木 柚



NICHIYOSHI ニュース

2012年 初春
〒710-0833
倉敷市西中新田548
TEL 086-430-2355
FAX 086-430-2266
柚木みちよし・金光学園
同窓生による後援会
<http://yuzu.jp>

柚木道義議員の政治力に期待



金光学園中学高等学校長

金光 道晴 (高23回)

私は今年度4月に佐藤元信先生の跡を受け、校長に就任させて頂いていただきました。何分微力でありたいませんが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

最初にこの紙面をお借りして、母校金光学園の近況を2つだけお知らせいたします。まず、学習面では今年度から向こう5年間にわたって、文部科学省よりスーパーサイエンスハイスクール (SSH) に指定され、大きな支援をいただき取り組むことになりました。中高一貫校として、普通科高校としてサイエンスだけではなく、全教科、全校体制でスタートしています。

ドなどの状況下での頑張りや、進学実績やマナーの良さなどが評価されました。大変嬉しいことでもあります。

さて、3月11日に起こった東日本大震災により、2万人を超える尊い命が奪われてしまいました。建物、田畑、船や車をはじめ、これまで大切にしてきた生活も失われてしまいました。福島原発事故も大変深刻な事態に陥っています。今こそ、全ての国民の力で復興や復旧を進め、支援していかねばならない時であります。

行って欲しいと心から願っています。母校金光学園の合言葉「人をたいせつに 自分をたいせつに 物をたいせつに」の精神は東日本の復興、これからの日本の歩み、

世界平和の実現に最も大切な心だと確信します。柚木議員の頑張り

正念場



元浅口市長 田主 智彦 (高9回)

金光学園の大先輩で衆議院議員に連続十回当選した加藤六月氏は、著書「掉尾の勇」の最終章で「二大政党体制への渴望」を熱く語っている。保守合同による自民党結成、左右社会党の統一以来の大規模な政党再編成により新進党が結成され、加藤氏の掲げる二大政党体制の実現へ大きな一歩を記した。そして今や、ようやくして民主・自民の『二大政党時代』到来の感がある。アメリカの民主党と共和党の二大政党を範として互いの切磋琢磨が期待され、国家国民に有益な政治体制と確信する。

さて柚木道義議員は二〇〇五年の選挙で保守王国岡山の鉄壁の牙城を崩して見事当選し、二〇〇九年の民主党ブームのなか得票を大幅に伸ばした。加えて盟友、花咲宏基議員が初当選で加わり「ほつ

まの旗が二つ並んだことは同窓われわれに誠に心強く、金光学園の誇りでもある。然し今残念にも民主党は国民の信頼を大幅に失っているかに見える。中幅にバラバラで中枢も朝令暮改を誇られ、民主党は正に鼎の軽重を問われている。このたびの新しい体制のもと地震、津波、原発への対応は勿論、医療、福祉、教育、経済等の難問に説得力ある方向性を示して欲しいと願う。管見ながら消費税を上げたら勝ち戦は難しくなると思うが果たして如何。

柚木みちよし議員には初心の「誠実で暖かい心」「一生懸命の姿勢」を忘れず頑張ってください。奮迅のご活躍を切に祈る次第であります。

同窓生の

金光学園はつ同窓会有志の皆さまより、多くの投稿をいただきました。ありがとうございます。皆さまの近況報告の場としてもご利用いただければ幸いです。

輪

お化け宿り木

小幡 一 (高19回)

大地から芽を出した木は、やがて生長して大樹となる。日本人もまた戦後の廃墟から立ち上がって、今では欧米と肩を並べる大樹に成長しているように見える。

日本人は賢い。だから経営者は、どうすれば効率よく(資本主義に毒された日本人の好きな言葉だ)金を稼げるかをよく知っていた。

こうして付加価値の高い先端的な技術の発展、つまり、樹木で言えば枝を伸ばすことにいそしんだ。その結果、先進国の仲間入りをして(実に、じょうでまだ!)、いまや韓国、中国、インドに追われる立場にある。日本はさらに枝を伸ばさなければ、彼らとの競争に勝てない。人々は幹と根を軽く見た。幹と根に支えられていたからこそ、自分たちの枝が安心して伸びていくことを忘れ

た。いや、現金の魔力に目がくらんだのか?

その結果、完全に他の樹木、つまり他の国に依存(例えば食料)しなければ生きていけない「お化け宿り木」に成長し、それを高齢化(老化)がいたぶっている。この国は、場当たり的な農業政策を繰り返したことによって、自給自足体制を自ら放棄した。金を持っているうちはまだ他国から食料を買うことができるが、金がなくなったらどうするのだ。物々交換しようにも物が無い。

それとも「一億総餓死」の道をたどるか! それは現実となつてすでにアフリカで始まっている。昔、ある評論家がテレビ時代の到来を「一億総はくち時代が来



厚生労働委員会にて

た」と嘆いたらしいが、この「一億総餓死時代」の到来はもっと深刻な話のはずだ。

一本の巨木を枯らすには、もっとも負荷がかかっている幹の根元を痛めつけて養分が上昇しにくするのが、一番てっとり早い。だからこそこの幹の手当を早く、お得意の小手先の処置ではなく、



親子お笑いライブ

根本的な処置をする必要がある。躊躇することは決して国の将来のためにならない。

分かりやすいので「食」を例に出したが、樹木が大地から受け取っているものはきつと他にもあるはずだ。

政治のお仕事

中藤 収 (高24回)

身もフタもなく言ってしまう。選挙の洗礼を受けた以上、なんでもかんでも信託されたと思ってもらっては困るが、全ての利害が一致することはまずない訳だから、立法には少なからず我々の自由と財産を侵害する要素がつきまとうのは折り込み済みである。だからこそ立法府の住人には哲学がいる。残念ながらここ数代の首相(あっ彼らは行政府の住人か)には覚悟を感じる事ができなかった。彼らは自らがおかれた、いや手中にした立場に畏敬の念すら持っていなかったのかもしれない。

そこで柚木さんをお願いしたい。政策の表現においては朝令



街頭募金活動



中央マーチにて参加者との記念撮影

暮改でいい。が、批判をグッと受け止めて動じない哲学を持って欲しい。国家観、歴史観をしっかり持って欲しい。政治家の皆さんに世界の中の日本という視点があれば、今回のPPPをめぐる内向きな議論はなかったような気がする。政治は言葉だが、多弁は虚しい。頑迷は見苦しい。そして永田町色は多色が混じり合っており、濁っている。

できれば応援し続けてゆきたい。多様な価値観の中だからこそ、何をやったかではなく、どう考える、どう行動するかを表に出して欲しい。情報発信手段は山ほどある。衆愚政治は時代にそぐわないとほとんどの方が気づいており、政治家の姿勢・あり方が注視されている。頑張れ柚木道義。

新年のご挨拶

衆議院議員

花咲 宏基 (高37回)

金光学園の同窓生の皆様には、日頃より、ご支援をいただき、心より感謝申し上げます。

政権交代から2年が過ぎました。同窓生の皆様にも、大きなご期待をいただいた2年であつたかと存じますが、その皆様のご期待にお応えできていない政治が続いていることをお詫言しなければなりません。

来年度の予算、そして社会保障と税の一体改革の議論の中で、
柚木道義さん、そして私は、もがきながら、民主党の中で働かせていただいております。

柚木道義さんは、新たな持続可能な社会保障制度作りのために、民主党の厚生労働部門で獅子奮迅の仕事をされています。日本の社会保障制度は、世界の国々の模範とされていますが、一方で、その支出は、現在の公的保険制度や税制度では、賄いきれなくなっています。現在の社会保障制度の中に、できるだけ痛みを抑えるかたちで切り詰めることができるものはないか、また、必要であるのに行き届いていないサービスはないか、柚木さんは、いつも、大きな書類の束を持って、会議室から会議室へ飛び回っています。

私は、エネルギー対策特別会計検証ワーキングチームの座長

を始め、自ら身を切る改革を進めるために、働かせていただいております。何とか、国民の皆様のご負担増を一円でも少なくしたいの思いからです。政治とは政局と考えているような国会議員がいますが、手前



児島武道館創立記念柔道大会

俳句随想

稲架かける

花房 柀林 (高七回)

稲架かける昭和を生きし粘り腰 柀林
わずか二三余りの稲作ではあるが、自然の力による天日干にこだわり、今年もやっと一家総出で稲架掛けを終了した。中学校二年と小学校六年の孫娘も懸命に手伝ってくれ、爽やかな秋の一日であった。

炎天にいざうって出む蓑帽子
農夫みな老いゆく里や鵜雲
銀光の芒穂波打つ捨田かな
担がれて手足振りふり案山子行く

わが映の里の農家の人達も年老い、かつての豊かな美田もその半数が捨田となり、秋風に枯芒の穂が揺れている。「来年から稲作をやめます」と言う近所の人に、「稲作は地球を冷やし、命の海を守るので頑張りましょうや」と声かけながらやってきた。今や急速な機械化によって、稲作も随分と楽になったが、老農にとつての農作業は確かに堪える。

昭和三〇年代の急速な工業化の中で、第一次産業は顧みられなくなり、日本の中山間地の農業は瀕死の状況に追いやられた。されど「第一次産業を粗末にする国は滅びる」という私の農への思いは深い。

老農の愚直に生きむ小鳥来る

味噌になるかもしれませんが、金光学園卒の柚木さんも私も、政策で政治を動かそうと日々活動をしています。

あらためて、この2年、十分な成果を生んでいないことをお詫言させていたたくと共に、残りの

子供たちの未来のために

熊谷 英実 (高48回)

先日、金光学園同窓生による後援会(母校同窓生の声を聴く会(国政報告会))へ出席させていただきました。柚木議員は厚生労働担当副幹事長として活躍されているとのこと。そのため、社会保障や震災復興などに力を入れ、活動されている様子がうかがえました。

私は、福祉・教育相談を受ける職についていることもあり、次世代を担う子どもたちに負担を増やさないための、社会保障と税の一体改革の必要性には共感することが出来ました。

広義での社会保障を考えると、福祉単一のものでは考えることが出来ず、経済や教育など多くの分野との協働は必要だと思えます。なかでも、「独居世帯」、「一人親家庭」、「複数世帯が同一の場所に住んでいる」、「他人と共同生活をしている」、「血縁

任期で、一つでも多く、政権交代して良かったと実感いただける成果を生み出すことに死力を尽くすことをお誓い申し上げます。

今後とも、柚木さん、そして私に、ご指導いただけますようお願い申し上げます。

関係であっても経済を別に行っている」など家族の形態が複雑化している中、子どもの学校・家庭・地域教育は、困難を極めていると思えます。また、現行の制度・サービスで支えていくことは難しいとも思えます。

ぜひ、次世代を担っていく子どもたちのためにも国・地方自治体・地域・個人の縦のつながり、さらには横へのつながりを大切にしたいといううえで、十年、二十年、五十年先を見通しながら融通性のある制度作りを行っていただくことに期待を寄せています。

先輩！応援しているので体を壊さないように頑張ってください。

生みちよしをどうぞ

平成23年11月19日(土)倉敷労働会館において、国政報告会を行いました。24年1月末には総会も開催いたします。みちよし議員の国会での活水源は皆様の生のご意見や情報です。是非ご出席の上、忌憚のないご意見をお聞かせ下さい。

みちよしの活動報告書 走る

衆議院議員

民主党本部副幹事長

柚木 道義

(高43回)

心より感謝申し上げます。

早いもので決して忘れることのできない二〇一一年も終わり、新しい年を迎えました。「柚木みちよし・金光学園同窓生による後援会」の皆様はじめ同窓生・ご家族の皆様には、本年もご指導ご支援いただきまして、

野田政権のもとで、私は民主党本部の副幹事長に就任しました。また社会保障と税の一体改革調査会では長妻元厚生労働大臣の下で事務局長代理としてさらに医療・介護ワーキングチーム座長、行政刷新・規制改革ワーキングチーム座長としてフル稼働しています。

このように私自身は全力投球

しているわけですが、反面、政権全体としては十分には皆様のご期待にそえていない点を申し訳なく思います。

政権交代の成果と課題を検証し、残りの任期に全力を尽くします。私の担当している社会保障分野では、出生率の上昇、自殺者の減少、高校中退者や待機児童も減少、さらに消えた年金問題は政権交代後に千六百二十万人分・一兆五千億円分が回復しています。事業仕分けもこれまでで十一兆七千億円の財源捻出をしています。

ガソリン減税や高速道の無料化は震災復興財源捻出もありお詫び申し上げます。来年度は水島コンピナート

関係だと自動車減税や鉄鉱石製 造や石油精製・化学原料減税の 延長などが実現できそうです。 出来ない政策については、年 末の予算編成・税制改革、年 明けからの国会と全力投球して いく覚悟です。

そのほか地元関係では、民主 党岡山県連代表として、水島コ ンピナートの高梁川新架橋建 設、国際バルク戦略港湾、総合 特区などの推進に尽力してきま した。

終わりに、後援会はじめ同窓 生・ご家族の皆様のみますますの ご健勝とご多幸を祈念申し上げ ます。



MICHYOSHI's Photo Album

交通安全フェア

地元交通安全フェア

石井知事の陳情に立ち会い

倉敷市団体の旅行出発式にて

岡山2011 デンタルセミナー

地元のご婦人方と

地元のお祭り会場にて

国会での質疑の記録です (2011年1月以降)

第177回通常国会 2011年1月24日~8月31日

| 月日 | 委員会 | 案件 | 質問のポイント |
|-------|-----------|-------------|--|
| 03/29 | 厚生労働 | 子ども手当法案 | 国民生活等混乱回避するための子ども手当つなぎ法案の提案者として趣旨説明及び答弁 |
| 03/31 | 厚生労働 | 子ども手当法案 | 参院での子ども手当つなぎ法案審議で福島みずほ社会民主党党首の質問に法案提案者として答弁 |
| 04/27 | 厚生労働 | 求職者支援法改正 | 立法趣旨を明確化するための修正案を提案、趣旨説明し、可決 |
| 05/11 | 厚生労働 | 一般質疑 | 生肉食中毒について 福島第一原発事故による放射能被曝の影響と対策について 衆院厚生委員会委員派遣：女川町立病院視察を踏まえた質問 |
| 06/09 | 厚生労働 | 介護保険法改正 | 介護サービスの基盤強化のための介護保険法等の一部を改正する法律案(閣法第五〇号)(衆議院送付)について修正案提出者として答弁 |
| 08/10 | 決算行政監視委員会 | 平成20年度決算外2件 | 円高是正について 景気好転による増収分の財政再建への充当の仕組について総理のご決意 |



twitter

twitter.com/yunoki_m

blog

blog.livedoor.jp/yunokimi/

